

# 施策項目 1 8 幼児教育の充実

【評価結果】 【担当課：幼児教育推進センター（義務教育課、社会教育課）】



担当課 HP

<b>総合評価</b>	<b>計画どおり</b>
-------------	--------------

定量評価 [指標]	A
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	1	2	0	0
	d 評価となった指標				

定性評価 [施策]	進展あり
<p>幼児教育の充実に向けて、多忙な保育者への研修機会の確保が課題となっていることから、オンラインによる研修の実施やオンデマンド教材の充実など、保育者が参加しやすい研修体制を整備。研修の参加者は増加傾向となっている。</p> <p>幼児教育施設と小学校の連携促進について、保育者や小学校の教諭等を対象とした「幼小連携・接続担当者研修」や市町村、市町村教育委員会の担当者等による「管内幼児教育推進ネットワーク会議」を実施し、要領・指針等の相互理解や幼小連携・接続に向けた課題の共有を図っている。</p> <p>子育てや家庭教育に関する学習機会や情報提供が実施できており、施策の進展が認められる。</p>	

## 【施策の推進状況】

【P】・・・「Plan 令和4年度の主な施策」    【D】・・・「Do 主な取組の状況」  
 【C】・・・「Check 施策の課題」            【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	(1) 幼児教育の充実 ・広域の本道にあって幼児教育施設の保育者が参加しやすい研修体制の整備、園内研修の充実に向けた幼児教育相談員等の人材確保
	(2) 幼稚園、認定こども園、保育所と小学校との連携の促進 ・幼小接続に関する好事例の普及及び幼小接続に関する研修の充実 ・幼児教育施設の意見を踏まえたスタートカリキュラムの作成並びに丁寧な引継ぎが求められている
	(3) 子育て支援活動の推進 ・関係機関と連携した親子のふれ合いの場を提供、電子メディアの適切な利用を含む、生活習慣の定着に関する啓発資料の作成、学習機会の確保

(1) 幼児教育の充実	
<p>①新型コロナウイルス感染症対策や多忙な保育者に研修機会を確保する観点から、ICTを活用したオンライン研修やオンデマンド教材を活用した研修の充実</p> <p>②幼児教育施設が主体的に園内研修を実施できる体制の構築</p>	<p>①「初任保育者研修」「中堅保育者資質向上研修」「幼児教育施設長研修」をオンライン・オンデマンドにより実施 延べ約800名が参加</p> <p>②「園内研修リーダー育成講座（基礎編・応用編）」をオンライン・オンデマンドにより実施。約50名が参加</p> <p>・「幼児教育相談員派遣事業」の実施（約60件（園））</p>
[P]	[D]
[A]	[C]

(2) 幼稚園、認定こども園、保育所と小学校との連携の促進	
<p>文科省作成の「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）」や道が作成した「幼児教育と小学校教育の連携・接続ハンドブック」等を活用し、幼児教育施設や小学校、市町村教育委員会等に幼児教育の重要性及び連携体制構築の必要性に関する理解促進</p>	<p>・「幼小連携・接続担当者研修」を実施し、要領・指針等の相互理解や幼小連携・接続に向けた課題を共有（14管内 保育者・小学校教諭等 約340名参加）</p> <p>・「管内幼児教育推進ネットワーク会議」を実施。幼小連携・接続に必要な自治体の役割を共有（14管内 市町村及び市町村教育委員会担当者等 約300名参加）</p>
[P]	[D]
[A]	[C]

(3) 子育て支援活動の推進	
<p>① ブックスタートや乳幼児検診・就学時健診などの機会を活用した子育て講座等の取組への支援 ② 全ての保護者が安心して子育てを行うことができる支援体制の構築のため、「地域における家庭教育支援基盤構築事業」を実施</p>	<p>① 各市町村教育委員会及び子育て支援を実施する部署の取組を、各市町村対象の質問紙調査だけでなく、各種会議や研修等の意見交換で一層把握 ・子育て支援に関する情報の提供、オンラインやオンデマンドによる講座等の取組を支援 ② 有識者で構成し、家庭教育支援チーム設置や家庭教育ナビゲーターの活用等、総合的な家庭教育支援のあり方や成果の検証を行う「家庭教育推進協議会」を開催（年2回） ・支援者の資質向上を図るため、オンライン形式の「家庭教育支援者養成研修」等を実施し、家庭教育支援体制を構築（11月29日、54名参加）</p>
<p>① 家庭教育支援に携わる人材との情報交換を継続的に実施 ・子育て支援に関する講座を実施する際には、福祉部局への聞き取りを行い、支援者及び福祉部局担当者のニーズに即した講座内容を設定 ② 「地域における家庭教育支援基盤構築事業」を引き続き実施することで、支援者の資質向上や家庭教育支援チームの設置を促進 ・全道各地の家庭教育支援チームの取組を強化するため、オンラインも活用した研修と交流の機会の充実</p>	<p>① 子育て支援に関する環境はコロナ禍で変化していることから、継続的な意見交換が必要 ・講座の参加者は、教育関係者が多い現状にあり、支援者及び福祉部局担当者の参加促進が必要 ② 家庭教育ナビゲーター等の家庭教育支援に携わる方に対する資質向上機会の継続が必要 ・設立直後の家庭教育支援チーム構成員が、長年活動に取り組む他チームと交流し、活動を充実させる上での先進事例を学ぶ機会の設定が必要</p>

### [指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施 主体	調査期日 又は調査 対象期間	指標の 対象
		実績値（下段）											
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)						
① 域内の幼稚園、認定こども園及び保育所、並びに小学校間の意見交換や合同の研修会の機会を設けている市町村の割合(%)	(H28) 66.3	73.0	89.5	93.0	95.5	100	100.0%	a	教育活動等に関する調査	道教委	R4年度中	市町村	
② 域内の幼稚園、認定こども園及び保育所の意見を踏まえて小学校入学後のスタートカリキュラムを編成している小学校の割合(%)（再掲） （本掲は、「施策項目21」）	(H28) 56.4	65.0	76.7	84.5	91.5	100	95.3%	b	教育活動等に関する調査	道教委	R4年度中	小学校	
③ 多くの親が集まる機会を活用した子育て講座を実施している市町村の割合(%)	(H28) 98.9	100	100	100	100	100	96.6%	b	乳幼児及び就学時検診時等の保護者を対象とした学習機会の実施状況調査	道教委	R5.4	市町村	
評価結果	(a) 指標数 1	(b) 指標数 2	(c) 指標数 0	(d) 指標数 0	定量評価		A						
新型コロナウイルス感染症の影響により実績値が伸びなかった指標又は低下した指標に対する今後の取組													
d評価に対する今後の取組													